



▶ 愛知県尾張旭市

貴重な湿地と生態系保全への取組

吉賀池湿地は、尾張旭市北部の濁池近くに位置する多様な植物が生育する湿地で、市の指定文化財（天然記念物）に指定されています。数多くの季節の花や、絶滅危惧種のサギソウ等の貴重な湿地植物やハッチョウトンボ等の生物が見られ、一般公開の際には、市内・市外から多くの方が訪れます。

しかし、吉賀池湿地の散策路として整備された木道は設置から20年以上経過し、老朽化による劣化や損傷が著しくなってきたことから、より安全・快適に見学ができるよう、ふるさと納税を活用して、木道の再整備

備をすることとしました。再整備に伴い、道幅が狭かった箇所を設置する待避所には、ふるさと納税によって設置されたことを表示し、訪れた方に対し制度周知を図ります。また、市のウェブサイトにて、使い途別の寄附の状況を報告しています。



秋の一般公開の様子。木道からシラタマホシクサを撮影している参加者



絶滅危惧種のサギソウが数多く咲いている様子

注力した点や工夫した点

寄附者がふるさと納税の使い途を選べることを重視しており、14の使い途を選択可能としています。また、使い途をイメージしやすいように、具体的な事業内容や事業に必要な金額を表示しています。

Check

取組の効果

ふるさと納税の使い途を明確化し、寄附者の共感を集めていることについて報道機関等に大きく取り上げられ、平成28年度は前年度の約11倍のふるさと納税をいただきました。また、吉賀池湿地の一般公開には、取組以前に比べ、県外からの参加者が増えています。

また、ふるさと納税を通じて、全国に情報発信することができ、団体見学の希

望や大学の視察など、吉賀池湿地に対する関心が高まっていることから、今後、交流人口の増加や尾張旭市のPR効果が期待されます。



見学者へ湿地の説明をしている様子



整備される以前の木道

寄附者の声



・共感した事業の実現により、尾張旭市のまちづくりの一助となれたことを嬉しく感じるとともに、身近に感じることができました。

住民の声



・木道が再整備され、参加者が快適に見学できており、安心して湿地の説明ができます。（案内ボランティア）